

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第2分科会		
テーマ	子育て・教育・生涯学習		
開催日	平成26年 6月 27日	検討回数	第4回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

・子育てだけにとらわれず、課題を広く考え、子どもから大人まですべての世代に関して検討していく。

2. 今回の討議した内容(報告)

・支援を受ける側と与える側で何をやっているのか、これから何ができるのかを分けて考えていくことが必要

- ①未就学児 ブックスタート・子育てサロン・親子で遊びに行こう・農業体験
- ②就学児 子ども教室
子ども会・ボーイスカウト・スポーツ少年団
ボランティア講座
図書館ボランティア(ジュニア司書)
- ③成人(現役世代) 講座の受講はあるが、ボランティアとして自分がやる意識は薄いのでは…
趣味を生かしたイベントやマチコンの開催
仕事帰りに参加できる場所の確保(駅前の貸店舗など)
- ④成人(高齢者) 高齢者は受ける側ではなく、与える側に
必要とされる自分を実感できれば、意識は外に向くのでは
現役を退いたばかりで技術、知識の豊富な人に講座を受講してもらい、
講師として登録する
⇒ 講師として登録する(講師を捜す) ⇒ コーディネーターを養成
⇒ コーディネーターの動機つけ(生きがい、目的など)が必要
⇒ プロデューサー的役割ならある程度行政が担うことが必要では
地域の格差をカバーできるのは市民より行政では
⇒ 小さな支援はできる人が、大きな支援は市民と行政がタイアップして

3. 次回の検討方針

・中間報告に向けて、討議内容を整理する